

鼎

水関連施設を災害に強く、

談

～クラウドによる
遠隔管理の可能性～

広域的に最適管理

近年、市町村合併や自然災害の多発など、水道施設の効率管理、安全確保が課題となつておらず、クラウドによる遠隔監視が世界的に注目を集めている。本紙では、スマートフォンやタブレット端末を利用して、水道業務を進化させている広島県企業局、同県と民間企業が共同で設立した水道事業運営会社の株式会社水みらい広島、クラウド総合水管理システムを提唱する小松電機産業株式会社の関係者に「登場いただき、遠隔管理の現状や効率化の可能性などを語り合っていた」。